



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 神田通信機株式会社  
 コード番号 1992 URL <http://www.kandt.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 神部 雅人  
 (氏名) 高橋 昌弘

TEL 03-3252-7731

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,368	△1.7	△65	—	△29	—	△36	—
29年3月期第2四半期	2,409	△6.1	△65	—	△29	—	△38	—

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 △3百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△45.55	—
29年3月期第2四半期	△48.48	—

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
30年3月期第2四半期	6,184	—	3,515	—	56.9	4,386.05
29年3月期	6,582	—	3,559	—	54.1	4,439.27

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 3,515百万円 29年3月期 3,559百万円

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)29年3月期期末配当の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 2円00銭

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円00銭となり、1株当たり年間配当金は3円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,250	6.8	200	22.7	250	16.2	155	2.1	193.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	874,409 株	29年3月期	874,409 株
30年3月期2Q	72,801 株	29年3月期	72,589 株
30年3月期2Q	801,724 株	29年3月期2Q	801,834 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は平成29年6月29日開催の第80期定時株主総会決議により、平成29年10月1日付で株式併合(10株を1株に併合)を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 3円00銭
- 2. 平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 19円33銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善が見られ、緩やかな回復基調にありますが、海外の政治情勢への懸念や地政学リスクの高まりなどから先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、永年にわたり情報・通信・映像の事業で培った豊富な経験と情報・通信を統合した確かな技術力をもって、進化するネットワーク社会に適合したソリューションビジネスを展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は23億68百万円(前年同四半期比1.7%減)となり、営業損失は65百万円(前年同四半期は営業損失65百万円)、経常損失は29百万円(前年同四半期は経常損失29百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は36百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失38百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ① 建設事業

I Pネットワークの提供で企業のネットワークインフラの設計・提案・構築とサポートサービスを行っており、大手・中堅企業の全国ネットワーク構築や地方自治体のネットワーク構築及びセキュリティ関連システム等のソリューション提案及び商業施設、ホテルやブランドショップ等への照明システムの拡販に積極的に注力いたしました。

以上の結果、当セグメントの完成工事高は19億75百万円(前年同四半期比0.5%増)、営業損失は58百万円(前年同四半期は営業損失78百万円)となりました。

#### ② 情報システム事業

自社ブランドパッケージソフトの開発と販売、一般企業や独立行政法人・社会福祉法人向け等のシステム開発及びセキュリティ関連ビジネスとハード、ソフトのサポートサービスを行っており、独立行政法人向け財務会計ソフト「見える会計」、社会福祉協議会向けソフト「こころ」等自社開発パッケージソフトの提案やセキュリティ関連システム提案等ソリューションビジネスを積極的に展開いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は3億60百万円(前年同四半期比8.1%減)となり、営業損失は27百万円(前年同四半期は営業損失24百万円)となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

不動産の賃貸を事業としており、売上高は33百万円(前年同四半期比36.6%減)、営業利益は21百万円(前年同四半期比43.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は61億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億98百万円減少しました。これは主に、現金預金が2億26百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が6億66百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は26億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億54百万円減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が2億4百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は35億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して43百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が76百万円減少したこと等によります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は前連結会計年度末と比較して2億26百万円増加し16億53百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億73百万円(前年同四半期は2億84百万円の収入)となりました。これは主に売上債権の減少6億67百万円等の増加要因があった一方、仕入債務の減少2億3百万円、たな卸資産の増加1億46百万円等の減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1億19百万円(前年同四半期は22百万円の収入)となりました。これは主に投資有価証券の償還による収入1億円等の増加要因があった一方、有形固定資産の取得による支出5百万円等の減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は67百万円(前年同四半期は27百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額39百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,488,725	1,714,812
受取手形・完成工事未収入金等	1,629,321	963,023
未成工事支出金	171,797	349,888
仕掛品	44,240	5,616
その他のたな卸資産	4,005	11,150
その他	148,494	129,358
貸倒引当金	△18,180	△17,445
流動資産合計	3,468,405	3,156,404
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	348,254	338,055
土地	1,520,934	1,520,934
その他（純額）	12,457	13,259
有形固定資産合計	1,881,647	1,872,249
無形固定資産		
	8,340	8,340
投資その他の資産		
投資有価証券	1,037,698	980,560
その他	204,150	182,811
貸倒引当金	△17,809	△16,070
投資その他の資産合計	1,224,039	1,147,301
固定資産合計	3,114,027	3,027,892
資産合計	6,582,432	6,184,297

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,042,765	837,943
短期借入金	220,000	220,000
未払法人税等	62,113	19,107
賞与引当金	128,400	123,760
役員賞与引当金	16,060	2,000
受注工事損失引当金	7,866	2,242
その他	359,856	377,801
流動負債合計	1,837,062	1,582,853
固定負債		
リース債務	104,402	83,085
繰延税金負債	94,536	105,624
退職給付に係る負債	860,857	857,580
役員退職慰労引当金	77,833	20,517
その他	48,243	18,735
固定負債合計	1,185,872	1,085,543
負債合計	3,022,935	2,668,397
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,310,825	1,310,825
資本剰余金	1,087,084	1,087,084
利益剰余金	997,442	920,836
自己株式	△130,368	△130,796
株主資本合計	3,264,983	3,187,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	300,294	330,840
退職給付に係る調整累計額	△5,780	△2,890
その他の包括利益累計額合計	294,514	327,950
純資産合計	3,559,497	3,515,900
負債純資産合計	6,582,432	6,184,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,409,146	2,368,583
売上原価	1,781,913	1,738,191
売上総利益	627,232	630,391
販売費及び一般管理費	692,631	695,398
営業損失(△)	△65,398	△65,007
営業外収益		
受取配当金	8,819	9,407
受取手数料	14,081	18,186
貸倒引当金戻入額	7,828	2,475
その他	6,327	7,833
営業外収益合計	37,056	37,902
営業外費用		
支払利息	1,461	1,514
その他	-	417
営業外費用合計	1,461	1,931
経常損失(△)	△29,804	△29,036
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,804	△29,036
法人税、住民税及び事業税	9,070	7,478
法人税等合計	9,070	7,478
四半期純損失(△)	△38,874	△36,514
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,874	△36,514



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△38,874	△36,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,358	30,546
退職給付に係る調整額	5,699	2,890
その他の包括利益合計	2,341	33,436
四半期包括利益	△36,533	△3,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,533	△3,078

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,804	△29,036
減価償却費	14,652	13,952
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,828	△2,475
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,846	△4,640
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,170	△14,060
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	—	△5,624
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,823	△386
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,339	△57,316
受取利息及び受取配当金	△12,954	△11,624
支払利息	1,461	1,514
売上債権の増減額(△は増加)	948,771	667,228
たな卸資産の増減額(△は増加)	△127,472	△146,611
仕入債務の増減額(△は減少)	△382,549	△203,272
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45,517	△36,552
その他の資産の増減額(△は増加)	12,721	△8,341
その他の負債の増減額(△は減少)	△65,690	26,282
小計	334,630	189,035
利息及び配当金の受取額	13,139	11,806
利息の支払額	△1,518	△1,543
法人税等の支払額	△61,744	△25,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	284,506	173,955
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△34,686	△34,686
定期預金の払戻による収入	34,684	34,686
有形固定資産の取得による支出	△6,219	△5,921
投資有価証券の取得による支出	△1,330	△1,413
投資有価証券の償還による収入	—	100,000
リース投資資産の回収による収入	33,969	27,169
差入保証金の差入による支出	△2,496	△366
差入保証金の回収による収入	339	407
その他の支出	△1,570	△2,687
その他の収入	90	2,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,781	119,275
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	—
リース債務の返済による支出	△33,969	△27,169
配当金の支払額	△23,781	△39,554
自己株式の取得による支出	△154	△427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,905	△67,151
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	279,382	226,080
現金及び現金同等物の期首残高	1,180,034	1,427,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,459,417	1,653,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	建設事業 (千円)	情報システム事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	1,964,672	392,174	52,298	2,409,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,964,672	392,174	52,298	2,409,146
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△78,594	△24,706	37,902	△65,398

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計(千円)
	建設事業 (千円)	情報システム事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	1,975,083	360,345	33,154	2,368,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,975,083	360,345	33,154	2,368,583
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△58,815	△27,473	21,280	△65,007

(注) セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。